

# FD NEWSLETTER



## CONTENTS

- 大学教員としての資質開発  
駒澤大学FD推進委員会副委員長  
副学長 齊藤 正
- 2009 年度「学生による授業アンケート」(前期)集計結果
- Web2.0のように常に成長していく授業の追求  
経営学部非常勤講師  
野村総合研究所コンサルティング事業  
本部上級コンサルタント 安岡 寛道
- FD推進委員会の今後の活動予定

## 大学教員としての資質開発

駒澤大学FD推進委員会副委員長

副学長 齊藤 正

2008年4月からすべての学士課程にFDが義務づけられるとともに、同年末、中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」が出され、FDとSDとの協働による教育力の向上という方向性が示された。そこにおけるFDとは、大学設置基準の「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」(第25条の三)を指していると思われるが、大学の授業とは何であるのかという悩みが年々深まっている者にとって(このことについては、2007年10月の本誌第17号に書かせていただいた)授業内容や授業方法の改善をFDの主たる目的とするに対しては割り切れない思いが残っていた。

そんな折、リクルート社発行の『カレッジマネジメント』第157号に載った、京都大学の塚雄作教授による「教育力を向上させるFD」と題する論考に出会った。教授は、FDの多くが授業評価や外部講師による研修会といった「定型的FD」に止まっていることを指摘された上で、FDを教育に特化させるとらえ方はかえってFD本来の目的にとっての障害になりかねないとして、FDを教育面に止まらない、研究、大学運営、社会貢献などを含む大学教員の資質開発としてとらえることを提起されている。目から鱗、これでFDに対する個人的「偏見」がかなり払拭された。

ほどなく、7月に行われたオープンキャンパスで複数の学科の先生方の模擬授業を拝聴する機会があった。それぞれの専門領域を切り口に、大学で学ぶことの意味を伝えたいという熱い思いが高校生たちに伝わり、教室にはある種の「共感」が醸し出されていた。専門領域の違いはあっても、「未来に繋がる自分に繋げる」知見を獲得する契機を与えることこそ、まさに大学教育の目指すものではないのか、そして、その実効性は大学教員としての資質がトータルにどれだけ開発されているかということにかかっているのではないかという、半ば確信めいた思いに浸った。

大学全入時代にあって、中教審が示したアドミッションポリシー、学士課程教育、ディプロマポリシーという、それぞれの学習段階に相応しいカリキュラムを用意するとともに、語学や情報リテラシーの強化を含む授業内容・方法の改善を図ることの重要性はいうまでもないが、FD本来の目的を置き去りにして手段が目的化することがあってはならないと思う。

## 2009 年度「学生による授業アンケート」 (前期)集計結果

2009 年度「学生による授業アンケート」(前期)を以下のとおり実施した。また、その結果については、科目分野ごとに、質問項目に基づき学部・学科の平均値を示した。

実施日	平成 21 年 6 月 15 日～6 月 20 日
対象科目	435 科目
対象者数	35,605 人
実施科目数	435 科目 (100%)
回答数	20,259 枚 (56.9%)

### 【質問項目】

#### 講義科目

- Q 1 . 履修にあたって「講義内容・授業計画」をよく読みましたか。
- Q 2 . 授業に熱心に取り組みましたか。
- Q 3 . この授業の予習・復習にあてた時間は、1 週間に何時間くらいですか。
- Q 4 . 授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。
- Q 5 . 授業の難易度はどうでしたか。
- Q 6 . 授業はおおむね「講義内容・授業計画」にそって進められましたか。
- Q 7 . 教材・資料等は効果的に使われていましたか。
- Q 8 . 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
- Q 9 . 教え方はわかりやすかったですか。
- Q 10 . 教員の話し方の声量・速さは聞き取りやすかったですか。
- Q 11 . 板書やスライド等の資料提示は見やすかったですか。
- Q 12 . 私語等の雑音がなく授業に集中できる環境が保たれていましたか。
- Q 13 . この授業で知的刺激を受けましたか。
- Q 14 . この授業について全体的な満足度をお聞かせください。
- Q 15 . 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。
- Q 16 . 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。
- Q 17 . 担当教員による個別質問
- Q 18 . 担当教員による個別質問
- Q 19 . 担当教員による個別質問
- Q 20 . 担当教員による個別質問

#### 実験・実習科目

- Q 1 . 履修にあたって「講義内容・授業計画」をよく読みましたか。
- Q 2 . 授業に熱心に取り組みましたか。
- Q 3 . この授業の予習・復習にあてた時間は、1 週間に何時間くらいですか。
- Q 4 . 授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。
- Q 5 . 授業の難易度はどうでしたか。
- Q 6 . 授業はおおむね「講義内容・授業計画」にそって進められましたか。
- Q 7 . 教材・資料等の利用は実験や実習の理解に役立ちましたか。
- Q 8 . 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
- Q 9 . 教え方はわかりやすかったですか。
- Q 10 . 教員の話し方の声量・速さは聞き取りやすかったですか。
- Q 11 . 実験機材の使用等についての説明は、わかりやすかったですか。
- Q 12 . 私語等の雑音がなく授業に集中できる教場でしたか。
- Q 13 . この授業で知的刺激を受けましたか。
- Q 14 . この授業について全体的な満足度をお聞かせください。
- Q 15 . 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。
- Q 16 . 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。
- Q 17 . 担当教員による個別質問
- Q 18 . 担当教員による個別質問
- Q 19 . 担当教員による個別質問
- Q 20 . 担当教員による個別質問

**語学科目**

- Q 1 . 履修にあたって「講義内容・授業計画」をよく読みましたか。
- Q 2 . 授業に熱心に取り組みましたか。
- Q 3 . この授業の予習・復習にあてた時間は、1 週間に何時間くらいですか。
- Q 4 . 授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。
- Q 5 . 授業の難易度はどうでしたか。
- Q 6 . 授業はおおむね「講義内容・授業計画」にそって進められましたか。
- Q 7 . 補助教材の視聴覚資料（カセット、ビデオ等）を効果的に取り入れていましたか。
- Q 8 . 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
- Q 9 . 教え方はわかりやすかったですか。
- Q 10 . 発音・速さは聞き取りやすかったですか。
- Q 11 . 雑音などがなく授業に集中できる教場でしたか。
- Q 12 . この授業で知的刺激を受けましたか。
- Q 13 . この授業について全体的な満足度をお聞かせください。
- Q 14 . 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。
- Q 15 . 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。
- Q 16 . 担当教員による個別質問
- Q 17 . 担当教員による個別質問
- Q 18 . 担当教員による個別質問
- Q 19 . 担当教員による個別質問

**保健体育実技科目**

- Q 1 . 履修にあたって「講義内容・授業計画」をよく読みましたか。
- Q 2 . 授業時間中は実技に集中し、熱心に取り組みましたか。
- Q 3 . この授業の予習・復習にあてた時間は、1 週間に何時間くらいですか。
- Q 4 . 授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。

- Q 5 . 授業の難易度はどうでしたか。
- Q 6 . 授業はおおむね「講義内容・授業計画」にそって進められましたか。
- Q 7 . 担当教員の授業への取り組みには熱意が感じられましたか。
- Q 8 . 教え方はわかりやすかったですか。
- Q 9 . 器具・用具について適切な説明がなされましたか。
- Q 10 . 雑音などがなく授業に集中できる教場でしたか。
- Q 11 . この授業を友人や後輩に勧めたいと思いますか。
- Q 12 . この授業について全体的な満足度をお聞かせください。
- Q 13 . 授業の開始時刻・終了時刻は守られていましたか。
- Q 14 . 休講は少なく通常通り、授業は実施されましたか。
- Q 15 . 担当教員による個別質問
- Q 16 . 担当教員による個別質問
- Q 17 . 担当教員による個別質問
- Q 18 . 担当教員による個別質問

**個別項目についての学科・専攻別平均値**

表 1 - 1 ~ 表 4 - 2 は、5 段階で評価された各項目について、項目別平均値を示したものである。

なお、担当教員による個別質問の項目については掲載していない。また、有効回答が 2 名以上あった学部・学科のみ掲載した。

表 1 - 1 講義科目

学部(学科)専攻)	仏教(禪)	仏教(仏教)	文(国文)	文(英米文)	文(地理)地域文化研究)	文(地理)地域環境研究)	文(歴史)	文(歴史)日本史学)	文(歴史)外国史学)	文(歴史)考古学)	文(社会)社会学)	文(社会)社会福祉学)	文(心理)
Q01	3.5	3.3	3.4	3.5	3.7	3.7	3.4	3.3	3.3	3.4	3.4	2.8	3.6
Q02	3.7	3.5	3.3	3.6	3.5	3.7	3.6	3.5	3.5	3.7	3.4	3.4	3.6
Q03	1.6	1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.7	1.3	1.3	1.2
Q04	3.3	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1
Q05	3.5	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3	3.4	3.3
Q06	3.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.8	3.7	3.6	3.7	3.8	3.8	3.6	3.8
Q07	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.7	3.8	3.7	3.9	4.0	3.7	3.8	3.9
Q08	4.1	4.0	4.0	4.1	4.0	3.8	4.0	4.1	4.2	4.1	3.9	4.0	4.1
Q09	3.6	3.5	3.4	3.6	3.7	3.5	3.5	3.5	3.7	3.7	3.5	3.6	3.7
Q10	3.8	3.5	3.4	3.5	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	3.5	3.6	3.7
Q11	3.5	3.5	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5
Q12	3.8	3.7	3.6	3.9	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.8	3.8	3.4	3.8
Q13	3.7	3.7	3.5	3.6	3.6	3.7	3.6	3.5	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8
Q14	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8
Q15	4.2	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	4.0	4.1	4.1
Q16	4.6	4.4	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.2	4.5
有効 回答数	126	266	499	298	259	147	157	236	177	156	580	1,046	208

表 1 - 2 講義科目

(学部)(学科)(専攻)	(経済)(経済(A))	(経済)(経済(B))	(経済)(商)	(経済)(現代応用経済)	(法)(法律A)	(法)(法律B)	(法)(政治)	(経営)(経営(A))	(経営)(経営(B))	(経営)(市場戦略)	医療健康科(診療放射線技術科)	(GMS)(GM)
Q01	3.5	3.5	3.4	3.3	3.2	3.3	3.5	3.5	3.2	3.4	2.6	3.2
Q02	3.7	3.7	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.4	3.3	3.5
Q03	1.6	1.4	1.6	1.7	1.5	1.5	1.5	1.4	1.1	1.4	1.7	1.6
Q04	3.2	3.1	3.2	3.3	3.5	3.4	3.2	3.2	3.0	3.2	3.3	3.3
Q05	3.4	3.3	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.1	3.3	3.5	3.6
Q06	3.8	3.9	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	3.8	3.4	3.7
Q07	3.8	4.0	3.7	3.6	3.6	3.5	3.7	3.8	3.9	3.7	3.6	3.8
Q08	4.0	4.2	3.9	3.8	4.0	3.9	4.1	4.1	4.3	4.1	3.7	3.9
Q09	3.7	3.9	3.5	3.5	3.4	3.4	3.7	3.6	4.1	3.6	3.4	3.4
Q10	3.8	3.9	3.7	3.6	3.5	3.6	3.7	3.6	4.3	3.7	3.4	3.4
Q11	3.6	3.7	3.5	3.4	3.2	3.1	3.3	3.5	3.7	3.4	3.3	3.5
Q12	3.7	3.9	3.6	3.6	3.9	3.5	3.7	3.8	4.2	4.0	3.3	3.4
Q13	3.7	3.8	3.5	3.5	3.5	3.5	3.7	3.6	3.9	3.6	3.4	3.6
Q14	3.7	3.9	3.6	3.5	3.5	3.5	3.8	3.7	4.0	3.7	3.4	3.6
Q15	4.0	4.3	4.0	3.8	3.9	4.0	4.0	4.1	4.4	4.0	3.8	3.9
Q16	4.2	4.3	4.3	4.1	4.5	4.4	4.3	4.4	4.6	4.4	3.9	4.2
有効回答数	1,665	170	1,296	1,469	557	280	823	558	40	149	1,403	3,417

表 2 - 1 実験・実習科目

(学部) (学科) (専攻)	(仏教) (仏教)	(文) (国文)	(文) (英米文)	(文) (地理) (地域文化研究)	(文) (地理) (地域環境研究)	(文) (歴史)	(文) (歴史) (考古学)	(文) (社会) (社会学)	(文) (心理)
Q01	3.8	4.1	4.1	2.8	3.3	4.0	4.0	3.2	4.3
Q02	4.0	4.4	3.9	4.0	3.9	3.7	4.3	3.3	4.3
Q03	1.3	1.3	1.3	3.1	2.0	1.3	1.7	1.1	1.7
Q04	2.8	3.1	3.6	3.5	3.5	3.3	3.0	3.2	4.0
Q05	2.8	3.3	3.7	3.8	3.8	3.7	3.0	3.8	3.3
Q06	4.0	4.0	4.3	3.8	3.8	4.0	4.7	3.6	4.3
Q07	4.0	4.0	4.1	3.9	3.8	4.0	4.3	3.7	4.3
Q08	4.0	4.3	4.1	4.1	3.8	4.3	4.3	3.6	4.7
Q09	4.3	4.1	4.0	3.7	3.3	3.7	4.0	3.2	4.3
Q10	4.0	4.3	4.3	3.8	3.5	4.0	4.0	3.3	4.0
Q11	4.0	4.0	3.7	3.5	3.2	4.0	4.0	3.3	4.3
Q12	3.8	4.0	4.0	4.1	3.9	4.3	4.3	3.1	4.3
Q13	3.8	4.5	3.7	3.8	3.7	4.0	4.0	3.3	4.3
Q14	4.3	4.4	3.9	3.7	3.4	4.0	4.0	3.4	4.3
Q15	4.3	4.3	4.6	4.0	4.3	5.0	4.3	3.6	4.3
Q16	4.0	4.8	4.7	4.4	4.7	5.0	4.3	3.7	4.7
有効回答数	4	8	7	84	60	3	3	47	3

表 2 - 2 実験・実習科目

学部(学科)専攻)	(経済)経済(A)	(経済)商)	(経済)現代応用経済)	(法)法律A)	(法)法律B)	(法)政治)	(GMS)(GM)
Q01	3.9	3.9	4.1	4.2	3.8	3.5	3.8
Q02	4.0	4.3	4.4	4.6	4.1	3.7	4.5
Q03	1.3	1.6	2.6	1.6	1.5	1.5	3.4
Q04	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.6	3.5
Q05	3.4	3.1	3.0	3.3	3.3	3.2	3.7
Q06	4.1	4.2	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3
Q07	3.9	3.6	4.0	4.1	4.1	3.7	4.5
Q08	4.4	3.8	3.7	4.2	4.2	3.5	4.7
Q09	4.2	3.9	4.2	3.8	3.9	3.7	4.5
Q10	3.9	3.6	3.7	3.6	3.9	3.6	4.6
Q11	3.7	3.7	4.0	3.7	3.9	3.8	4.2
Q12	4.0	3.7	4.2	3.8	4.0	4.1	4.6
Q13	4.4	3.9	4.2	4.0	3.9	3.8	4.7
Q14	4.3	4.1	4.3	4.4	4.0	3.9	4.5
Q15	4.1	4.1	4.2	4.1	4.0	4.1	4.0
Q16	4.0	3.7	4.2	4.1	4.6	4.2	4.8
有効回答数	9	16	9	9	22	10	19

表 3 - 1 語学科目

学部(学科)専攻)	(仏教)(仏教)	(文)(国文)	(文)(心理)	(経済)(経済(A))	(経済)(商)	(経済)(現代応用経済)	(経営)(経営(A))	(経営)(市場戦略)	(GMS)(GM)
Q01	2.5	3.7	4.3	3.8	3.8	4.0	4.0	3.8	3.1
Q02	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9	4.0	4.1	3.5	4.1
Q03	2.0	1.3	2.0	2.4	1.8	3.5	1.9	2.3	2.4
Q04	3.5	2.7	3.3	2.9	2.9	3.5	3.0	2.8	3.2
Q05	4.0	3.0	3.3	3.1	2.9	3.5	2.9	3.0	3.7
Q06	3.5	4.0	4.3	4.5	4.1	4.0	4.3	3.8	3.9
Q07	4.0	3.7	3.6	4.1	4.0	4.0	4.1	2.3	3.5
Q08	3.0	4.3	4.4	4.4	4.3	4.5	4.4	3.8	4.4
Q09	3.5	4.3	4.6	4.1	4.3	4.5	4.4	4.0	4.1
Q10	3.5	4.3	4.3	4.2	4.6	4.5	4.4	3.8	4.1
Q11	3.5	4.3	3.7	4.4	4.6	3.5	4.4	3.3	3.9
Q12	3.0	4.0	4.1	4.0	3.9	4.0	3.9	2.5	4.0
Q13	2.5	4.3	4.1	4.2	4.1	4.0	4.2	3.3	4.0
Q14	3.5	4.3	4.3	4.6	4.5	4.0	4.5	4.5	4.4
Q15	3.0	4.3	4.3	4.7	4.8	4.0	4.7	4.5	4.5
有効回答数	2	3	7	14	34	2	54	4	1,139



表 4 1 保健体育実技科目

学部(学科)(専攻)	(仏教)(禪)	(仏教)(仏教)	(文)(国文)	(文)(英米文)	(文)(地理)(地域文化研究)	(文)(地理)(地域環境研究)	(文)(歴史)	(文)(歴史)(日本史学)	(文)(歴史)(外国史学)	(文)(歴史)(考古学)	(文)(社会)(社会学)	(文)(社会)(社会福祉学)	(文)(心理)
Q01	3.4	3.3	3.3	3.3	3.1	3.5	3.3	3.1	3.2	3.1	3.3	3.3	3.1
Q02	4.5	4.3	4.5	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1	4.3	4.3	4.6	4.3	4.5
Q03	1.9	1.5	1.2	1.4	1.6	1.3	1.4	1.2	1.5	1.1	1.6	1.3	1.0
Q04	3.2	3.1	3.0	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	3.3	3.0	3.1	3.1
Q05	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	2.8	3.2	3.0	3.0	3.2	3.0	3.1	3.2
Q06	4.0	4.1	4.1	4.0	4.0	4.2	4.0	3.9	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
Q07	4.4	4.4	4.6	4.4	4.2	4.3	4.5	4.3	4.3	4.8	4.6	4.6	4.7
Q08	4.2	4.0	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	3.8	4.0	4.3	4.4	4.4	4.5
Q09	4.1	3.9	4.1	4.0	3.9	4.1	4.0	3.7	3.8	4.0	4.4	4.2	4.3
Q10	3.8	4.0	4.2	4.2	4.1	3.9	3.9	3.9	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3
Q11	4.2	4.0	4.2	4.0	3.8	4.0	4.0	3.9	3.9	3.7	4.4	4.2	4.4
Q12	4.3	4.3	4.4	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	4.1	4.5	4.4	4.5
Q13	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.4	4.4	4.5	4.3
Q14	4.4	4.4	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.9
有効回答数	51	97	86	114	59	60	26	41	27	20	48	47	59

表 4 2 保健体育実技科目

学部(学科)(専攻)	(経済)(経済(A))	(経済)(経済(B))	(経済)(商)	(経済)(現代応用経済)	(法)(法律(A))	(法)(法律(B))	(法)(政治)	(経営)(経営(A))	(経営)(経営(B))	(経営)(市場戦略)	医療健康科(診療放射線技術科)	(GMS)(GM)
Q01	3.6	2.0	3.3	3.3	3.7	3.7	3.8	3.4	2.6	3.4	3.0	3.1
Q02	4.4	5.0	4.3	4.2	4.5	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3
Q03	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6	1.4	1.7	1.6	1.2	1.7	1.6	1.5
Q04	3.1	3.0	3.0	3.1	3.3	3.0	3.1	3.1	3.0	3.1	3.2	3.2
Q05	3.1	2.0	3.0	3.2	2.9	2.9	3.0	3.2	3.4	3.0	2.8	3.2
Q06	4.0	3.5	3.9	3.8	4.3	4.0	4.3	4.2	4.2	4.1	3.5	3.9
Q07	4.3	4.5	4.2	4.2	4.5	4.3	4.0	4.4	4.0	4.4	3.5	4.4
Q08	4.0	4.5	4.0	3.9	4.3	3.8	3.9	4.3	3.8	4.3	3.3	4.2
Q09	4.0	4.5	4.0	3.9	3.9	3.7	4.0	4.2	4.2	4.2	3.5	4.1
Q10	4.1	4.5	4.0	4.0	4.2	3.7	4.0	4.2	4.0	4.2	3.7	4.1
Q11	4.1	5.0	4.0	3.9	4.4	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	3.8	4.2
Q12	4.3	4.5	4.2	4.0	4.5	4.0	4.0	4.3	4.0	4.3	3.9	4.3
Q13	4.3	4.5	4.2	4.0	4.6	4.1	4.1	4.3	4.2	4.3	3.6	4.2
Q14	4.6	4.5	4.5	4.3	4.6	4.2	4.7	4.5	4.2	4.3	3.6	4.2
有効回答数	297	2	223	97	71	23	41	296	5	161	37	210



## Web2.0のように常に成長していく授業の追求

経営学部非常勤講師

野村総合研究所コンサルティング事業本部

上級コンサルタント 安岡寛道

経営学部設置の専門科目である「e - ビジネス」を、昨年度から土曜日3時限目に講義している。出席者の理解状況などを毎回確かめるため、以下の項目のように、出席のみならず、理解度や質問を記入してもらい、授業の最後に回収している。

基本情報について

所属（学部学科・フレックス A/B・学年）

学生番号、氏名

授業について

今回の理解度・感想

今後の要望・提案

その他

自由記入欄（分からない用語、他に何でも）

これは、夏と冬に課すレポートだけで採点するのは難しいために毎回の出席状況を見る意味もあるが、同時に講義を無理にでも聞いてもらうためでもある。授業の出席は、単に「単位を取るため」という学生が多いのは、ある意味仕方ない。しかし、青春時代の大事な時期で物覚えも良い時期を無駄にさせないために、少しでも理解した内容や疑問を書く機会を毎回設けている。つまり、毎回の理解度、もしくはせめて感想を書いてもらうことによって、今日何を聞いて理解し、そのどこに興味があったか、また疑問点は何かを振り返ってもらう。

一方で、私自身もできるだけ興味を抱いてもらうため、インターネットや電子マナーの普及状況など、最新事情や一昔前からの変化、さらには私の本業のコンサルタントとしての裏話など、興味のありそうなことを交えて話している。また、テキストに載っていないイメージ（図表など）はできるだけ板書している（板書の内容が分かりやすいかどうかはさておいて）。あと、上記で毎回回収した各人の質問に対して、冒

頭で先週の振り返りを行い、全ての質問に対して答えられる範囲で皆に説明し、その日の授業内容に関連する補足資料を必ず1枚作成し、配布するようにしている。これは「e - ビジネス」という変化の激しい内容を教える授業の特性上、できるだけインタラクティブ（双方向）に行えるように心掛けている点でもある。この先週の振り返りを行っている理由としては、昨年度当初より学生からの要望として挙げられていたためであり、その日の授業に繋げていくには非常に都合が良いので、それ以来ずっと実践している。これ以外にも、私が「なるほど」と思うような学生からの要望が多々ある。

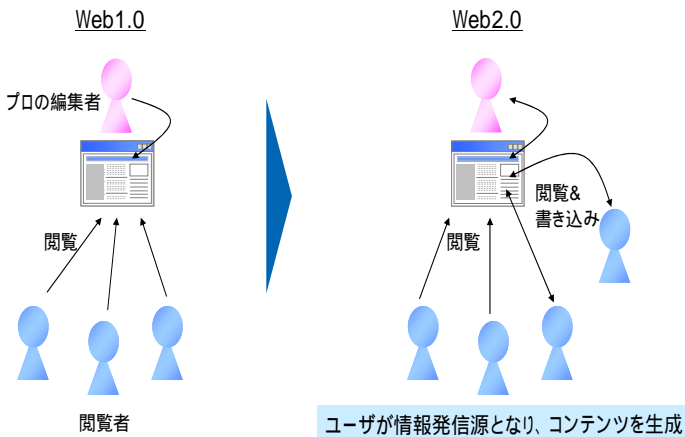
しかし、経営学部の学生は静かなのか、私の授業を履修する学生だけは静かなのか、もしくは最近の学生の「草食的」な特徴なのかは定かではないが、学生は静かに聞いており、その場では質問や要望は全く出ない。「例えば を使っている人は？」と問うと寝ているのではないから手は挙がるが、そこで学生に質問しても答えられず、次回からは後ろの方に座ってしまう傾向がある。しかし、「何でも疑問があれば書いて欲しい」と言うと、かなりの疑問が挙がってくる。中には遅れてきて最初に話したことを平気で聞いてくる学生もいるが、専門家では気づかないような率直な疑問が多く、こちらでも考えさせられる。

学生からのフィードバックの取り組みは、通常の授業では学生によるアンケート（授業期間中1回）のみなのでは分らないが、学生からはこういった取り組みに対して、昨年度（授業アンケートなど）の評価は非常に高かった。「e - ビジネス」の最後の授業の感想には、「今年の授業で最も興味深かった」との声は、何件もあった。企業のコンサルタントをしている私自身としては、顧客からのフィードバック（CS調査）を行うのは当然であり、プロジェクトが終わってから行うのではなく、常にフィードバックに応じ、修正・微調整を重ねていくものである。あまり負荷がかかりすぎると、フィードバックばかりで本質から外れてしまうが、昨今の少子化の現状のなかで学生は重要な顧客でもある点を、これからの大学教員は考えていく必要があるだろう。

ただし、「学生に媚を売れ」というのではない。一方的に教えるだけではなく、授業を学生と作るという Web2.0 的な発想が必要なのではないだろうか。Web2.0 とは、最近の「e - ビジネス」では当たり前になりつつある話であるが、「旧来は情報の送り手と受け手が固定され送り手から受け手へ

の一方的な流れであった状態が、送り手と受け手が流動化し誰でもが Web を通して情報を発信できるように変化した利用状態のこと」を言う。『ウェブ進化論』の著者である梅田望夫氏は、Web 2.0 の本質を「ネット上の不特定多数の人々（や企業）を、受動的なサービス享受者ではなく能動的な表現者と認めて積極的に巻き込んでいくための技術やサービス開発姿勢」としている。もちろん、授業自体で学生にコンテンツを作ってもらっては不可能だが、学生の理解からそれに応じた疑問にこたえていき、常に新しい授業を作り上げていくことが重要であろうと私は考える。

### < 参考図 > 旧来の Web1.0 から最近の Web2.0 への進化



ただし、本年度の履修者は、当初からの理解度や感想を見ると、昨年度よりもインターネットを頻繁に利用している学生が意外に少ない。つまり、Web2.0 と言っても、学生自体も当初はほとんどピンときていなかったのだ。そこで、インターネットに馴染んでいない学生には、より無理にでも出席して話を聞いてもらいたいと思っており、本年度は特に理解度の記入をより重視しようと思う。せっかく私の授業を履修してくれたのだから、学生に対し、少しでも「e - ビジネス」として、インターネットのみならず、私の専門の電子マネーやポイントのような企業通貨についても理解を深めてもらおうと思う。そこでのビジネスの現状と将来性、および面白さを知ってもらい、駒大生もいつの日か起業する志を持って卒業してもらうために、これからもそうしていきたいと思う。

## F D 推進委員会の今後の活動予定

平成 21 年度第 2 回 F D 推進委員会及び

第 5 回 F D 推進委員会小委員会開催

平成 21 年 9 月 29 日（火）

F D 活動についてご意見がありましたら、各学部等の小委員会委員までお申し出ください。

## 編集後記

F D NEWSLETTER も今号をもちまして 20 号を無事迎えることができました。ここまで順調に発行作業が進みましたのも、ひとえに皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

本号では 2009 年度「学生による授業アンケート」(前期) 集計結果を掲載しております。昨年度からの変更点としましては、所要時間を 10 ~ 20 分程度とすることで、各授業の実態に即した形で実施できるようにしました。

そして副学長の齊藤正先生には F D についての再定義に関する論考を、安岡先生にはコンサルタントというご職業の観点から、大学での授業運営のあり方についての論考をお寄せいただきました。F D 活動に関して、狭い観点にとらわれない両先生の知見は多くの先生方にも共感していただけるのではないのでしょうか。

(田丸 大・中川淳平)

【タイトル横の写真は、駒沢キャンパス正門横】

### F D NEWSLETTER Sep.2009 第 20 号

発行日：2009 年 9 月 30 日

発行者：駒澤大学 F D 推進委員会

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

03-3418-9125 Fax 03-3418-9114

(事務局：教務部)